

Forum for Educators and Facilitators
アジア太平洋ESD教育者フォーラム
session 3 A : ESDの方法論 実践事例



2009年 8月23日 (日)

京王プラザホテル

北海道教育大学附属旭川中学校
Hokkaido University of Education
Attached to Asahikawa Junior High-school

松 田 剛 史
Takeshi Matsuda

中学校社会科での学習分野

中学校第1学年
(12~13歳)

中学校第2学年
(13~14歳)

中学校第3学年
(14~15歳)

地理的分野

歴史的分野

公民的分野

(政治, 経済, 社会)

時間軸と空間軸で捉える“今”

<第2学年>

○1年間の学習テーマ：グローバル化

○育む力の重点：クリティカルシンキング（批判的思考）

【地理的分野】・・・自分・世界・地球のつながり・かかわり

産業、貿易、資源・エネルギー、環境、情報、ヒト・モノ・カネの移動 etc.

【歴史的分野】・・・歴史は繰り返す、歴史から今を見つめる

市民革命、産業革命、資本主義、植民地主義、帝国主義 etc.

時間軸と空間軸から、グローバル化した現在を見つめる

時空を超える

<第2学年> 現代まで、歴史的分野の学習を終える



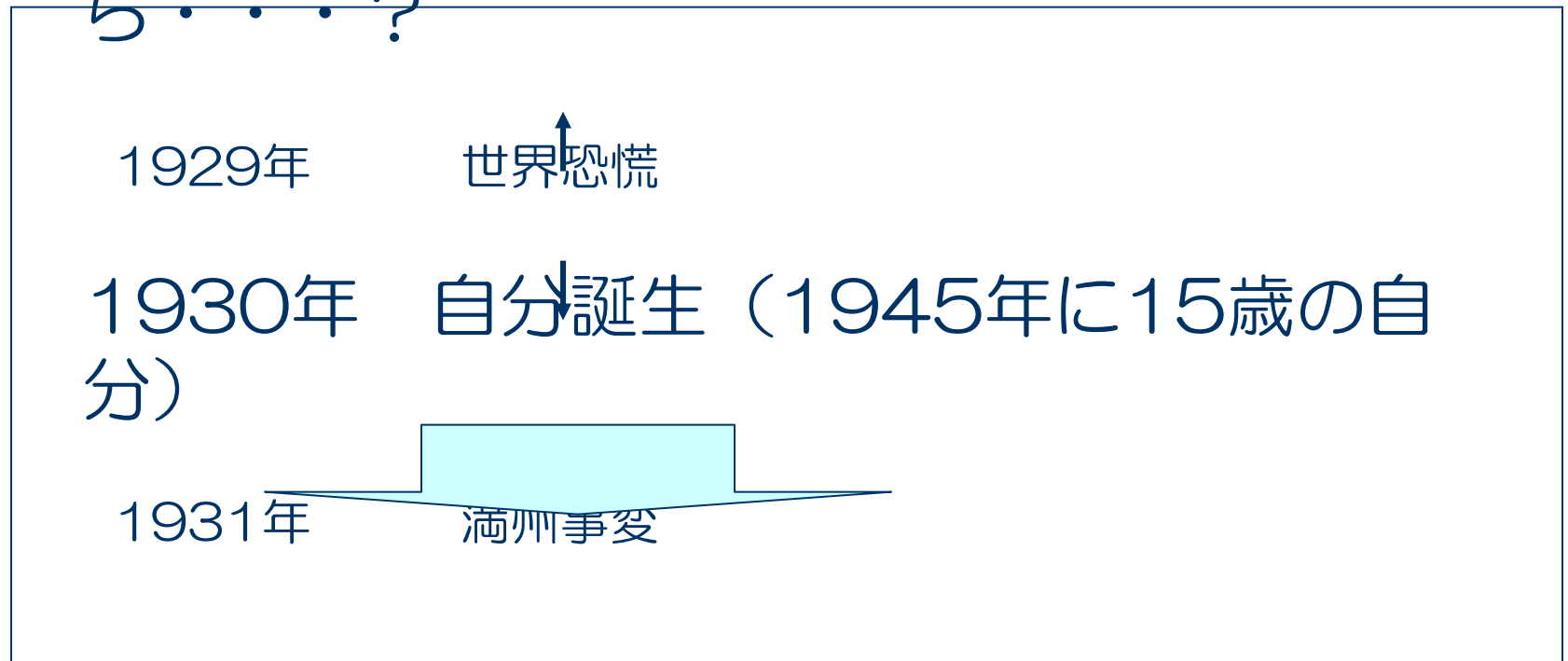
<第3学年>

① 20C初から1945年までの歴史をふりかえる

- ・ 日本はなぜ戦争に突入したのか? ~ discussion ~
ex.) 列強に追いつきたい, そうするしか生き残れなかった
- ・ 日本の転換点はどこだったか? ~ discussion ~
ex.) 日露戦争の勝利, 世界恐慌, 満州事変

時空を超える

②1945年 自分が15歳だったとしたら・・・？



15歳まで、ずっと戦争の時代

時空を超える

③ 「1930年生まれの自分」として、
日記を書く

100 A

- ・ 1945年8月 8日（ソ連が対日参戦）→徹底抗戦？ 不安？
- ・ 1945年8月15日（終戦）→屈辱？ 安堵？ 不安？



（学童疎開や勤労働員から解放され、友人と語らう）

～ ロールプレイ ～

- ・ 1945年8月16日（終戦翌日）→ 感情の変化がある？

時空を超える

④「1930年生まれの自分」の その後の生き方をデザインする

713-724

(歴史的分野で学習した際の
ワークシートを活用)

- ・「1930年生まれの自分」としての自分史

時間軸をタテだけでなく
ヨコにもみる

時空を超える

⑤ 「1930年生まれの自分」として、
日記を書く

100 B

- ・戦後～1993年までの自分の人生をふりかえった日記



- ・これから生まれてくる子どもたちへのメッセージ



<自分>
1994年
生まれ

自分で書いた自分へのメッセージ

自分の生きてきた時代

⑥ 本当の自分の歴史をふりかえる

100 C

- ・ 自分史
- ・ 世界と日本の動き

時間軸をタテだけでなく
ヨコにもみる

エッセイ「わたしの生きてきた15年」の執筆

自分の生きている時代

⑦今を見つめる

110A

- ・今の世の中の構築にかかわる最も重要な出来事や現象を抽出
→キーワード化

ex.) 経済危機, 新型インフルエンザ,
地球温暖化, 同時多発テロ etc.

～クイズ問題の作成～

- ・現代的課題として位置づけ、他の事象との関連性を探る

110B

～ webbing ～

持続可能な未来の実現に向けて必要な視点を探る

自分が生きていく時代

⑧未来を創る

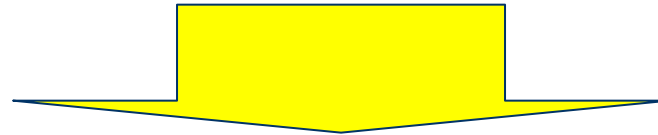
110 C

- ・ 自分史
- ・ 世界と日本の動き

自分のライフデザインと
望ましい未来デザイン



次の世代へのメッセージ



110 D

⑨エッセイ「わたしたちが創る世の中」の執筆

- ・ 持続可能な社会の構築に向けた意識と行動とは？

“今” と “未来” をつなぐ

110 C のワークシートには今後、
政治や経済などの学習單元ごとに
新しく気づいたことや考えたことをもとにして
加筆・修正していく

望ましい未来を自らデザインし、
協働して実現することを自らの力で学び取っていく

学校教育とESD

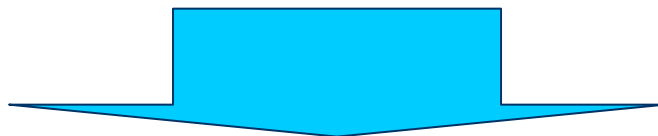
社会科単独では学習内容に偏りがある



他の教科や領域にもSD的な要素が必要
(横断的・融合的な学習形態を含む)



全体計画への位置づけを図る



生涯学習としての位置づけを見越して

学校教育とESD

○なぜESDを学校教育でするのか？

○ねらいは何なのか？

○適切な評価は？

<ESDではぐくみたい能力>

- | | | |
|-------|-------------------|-------------------|
| 力 | ・ 自分で感じ、考える力 | ・ 問題の本質を見抜く力／批判する |
| る | ・ 気持ちや考えを表現する力 | ・ 多様な価値観を認め、尊重す |
| 力 | ・ 他者と協力してものごとを進める | ・ 具体的な解決方法を生み出す |
| 力 | ・ 自分が望む社会を思い描く力 | ・ 地域や国、地球の環境容量を |
| 理解する力 | ・ 自ら実践する力 | |

(ESD-Jの捉えより)

ありがとうございました
Thank you.

威风堂々

